

2016年 暮らしの瓦版 9月号

「いいご縁」100号記念 特別インタビューを受けました



弊社では、新築の建物をお引渡ししてから、2年間は自社の現場担当者が定期点検を行います。3年目以降は、3年目、5年目、7.5年目、10年目の4回の定期点検を外部に委託しています。点検のプロに第三者の目で各室はもちろんの事、床下から、天井裏、外部全般をチェックしてもらいますので、お客様にとっても非常に安心で、信頼していただけます。その点検を依頼しているのが、(株)アイジーコンサルタントさんです。躍進を続ける優良企業さんです。その(株)アイジーコンサルタントさんが、毎月発行されている「いいご縁」の100号記念特別インタビューで、弊社を紹介して頂きました。

栃井建設のイベントや行事をご紹介するために、フェイスブック投稿記事を掲載させて頂いております。

岐阜の新築・リフォームなら53年の確かな実績 栃井建設
Totu 7時間前

仕事のムダ、ムラ、ムリをなくして適正利潤の追求がここのテーマです。そしてワークライフバランス（自分の時間、家族との時間も大切にしよう）。社員全員参加のタイムマネジメントの勉強会を計画しました。外部講師をお呼びして、8月～10月の3回構成です。第一回目、タイムマネジメントとは直訳すれば「時間の管理」ですが、講師曰く、「仕事のこなし方、さばき方」。講義内容に社員のうなずきが結構ありました。



もう一つ当社の特徴はいわゆる「営業マン」がいないことです。営業専属でやっているメンバーはゼロ。もちろん、創業者は営業に回ったと思いませんが、今、私たちが新規のお客様へ営業に回るのはしていません。本当にありがたいうことです。

鍵や配管トラブルも即対応 一度のご縁を次に繋げる



「水道が出ない」など、当社に言われても困ってしまう案件もありますが、すぐに対応しています。スタッフが出払ってれば私自身が対応することもありますが、近くにいるスタッフが対応することもあります。私も現場の叩き上げの人間ですから、車のトランクの中は道具だらけ。トラブルの応急措置は対応できます。鍵が壊れてトイレの中に閉じ込められた方の救出に行ったこともあります。



創刊100号記念 特別インタビュー
栃井建設工業株式会社
代表取締役 渡邊 浩 様
地元との「いいご縁」を紡ぐ

新規のお客様が多いのが毎月発行している「かわら版」を保管しておいてくれて「困ったら栃井建設」と連絡を下さいます。中には「玄関を出ようとして鍵がかからなくて困って

いる」「水道が出ない」など、当社に言われても困ってしまう案件もありますが、すぐに対応しています。スタッフが出払ってれば私自身が対応することもありますが、近くにいるスタッフが対応することもあります。私も現場の叩き上げの人間ですから、車のトランクの中は道具だらけ。トラブルの応急措置は対応できます。鍵が壊れてトイレの中に閉じ込められた方の救出に行ったこともあります。

今日は私が社長に就任してちょうど一年半。一昨年の大晦日に前社長が亡くなり、私三代目として引き継ぎました。先代が言い続けていたのが「お客様に満足してもらおうのはこの会社でもやっていい。満足だけでなく「感動」してもらわねばいけない」ということでした。今になって思うとそれが理念だと思えます。社員にもその考えが染みついていて、日常的に社長の口癖をまねて「感動してもらわなきゃ！」と言っています。先代が残してくれた財産だと思っています。

Company profile
栃井建設工業株式会社

会社名 栃井建設工業株式会社
創業 昭和37年6月9日
従業員数 21人
事業内容 木造軸組工法、鉄筋及び鉄骨・住宅建築
URL http://totu.co.jp/

「いい人に来てもらった」 人間性に訴える社員の育成

もちろん、新築は若い世代が対象です。その世代には、インターネットの情報が重要ですので、インターネットでの情報発信にも力を入れていきます。しかし、広告宣伝においては大手さんに遅れを取ることもあります。そこで当社としては「人間性に訴える」ということを重視しています。当社の監督は必ずお客様に気に入られて帰ってきます。次からは名指しで電話がかかってくる予定です。本当に当社の財産です。

「一期一会」を紡ぐ

当社には今年で創業五十三年です。一般的に総合建設業で半世紀続いている会社は少ないと聞きます。なぜ半世紀続いてきたかと尋ねられることバブル期を通して得た 地元のお客様との信頼関係

「一期一会」を紡ぐ

当社には今年で創業五十三年です。一般的に総合建設業で半世紀続いている会社は少ないと聞きます。なぜ半世紀続いてきたかと尋ねられることバブル期を通して得た 地元のお客様との信頼関係

発行

新築・建替え・リフォーム・増改築のことなら

栃井建設工業株式会社

岐阜市河渡3丁目138番地

0120-520-523

ISO9001 認証取得



～お貸しします～

社屋2階会議室
住所：岐阜市河渡3丁目138番地
広さ：33帖（30人程度・イスあり）

都合によりお貸しできない場合もありますので、ご了承ください。お問い合わせは、総務栃井まで。

夏の木工教室を開催しました

夏休み恒例の木工教室を開催しました。

36度と暑い中たくさんの皆様に来ていただきました。ありがとうございました。



午前 丸太切り大会



午後 スイカ割り大会

スイカ割りの後はおいしく頂きました



お客様の作品
新築された家に使用予定



親子で協力して作品を作っています

日本の家を100%耐震に

毎日の暮らしの中で“耐震”を考えたことはありますか？
いくつもの大きな地震を経験している日本は世界の中でも特殊な国。震度6以上の地震の5回に1回は日本で起こっているという事実があります。しかし、災害の記憶が薄れていくと日常生活の中で後回しになりがちなことにも皆が気づいています。

私たちは、住宅が身を守るものではなくて凶器にもなり得る事例をいくつも見てきました。木造住宅という建築の中で多くの日本人は生活しています。この事実を認識し、広め、そして対策をとっていくべきだと私たちは考えます。

耐震住宅によってもたらされる安心感、災害に備えることで、生まれる心のゆとり。私たち耐震住宅100%実行委員会は日本で暮らす、すべての人々が、耐震、防災の意識を持てるようさまざまなかたちで情報発信を行っていきます。

耐震住宅100%の目的

旧耐震基準の木造住宅は約900万戸あり、そこにはおよそ2,000万人の人々が暮らしています。(2005年現在)この旧耐震住宅を新たな耐震基準の住宅に変えれば、その9割の命を救えます。政府は国土強靱化政策の中で、2020年までに耐震住宅を95%にするという目標を掲げました。しかし私たちは、日本の家を100%耐震にするという高い目標を掲げ、地震に負けない社会の実現に向けて、その推進と耐震性の重要性を啓蒙していくことを目標としています。

あなたの残したい建物コンテスト

老朽化が進み取り壊しが予定されている、あるいは耐震強度が不足している古い建物の中から、思い出に残る場所や後世に残すのに相応しいと思う建物を募集し、「清水次郎長の生家」がグランプリに決定しました。多くの思いが詰まった建物を、耐震補修を施すことにより後世に残すプロジェクトを通じて、耐震性の重要性を周知することを目的としています。個人の住宅でもその思いは同じです。

次郎長親分の力を借りて、その思いを全国に発信していきたいと思ひます。

地震は必ず発生します

防災グッズや地震に対する心構えも大切ですが、建物の耐震化に勝る防災はありません。阪神淡路大震災では3秒で家屋が倒壊したと言われています。立っていることもできない状況のなか、たった3秒で何ができるのでしょうか？そのような大地震が30年以内に70%の確率で起こるのです。

この度の熊本地震が発生した地域では地震が起これないと言われていました。自分の住む場所では地震が起きないと思いたいのは人情です。しかし、雨が降る様に必ず地震も起こるのです。

その日のためにしっかり備えましょう。

「日本の家を100%耐震に」耐震住宅100%実行委員会(抜粋)

残り2区画!!

岐阜市河渡 土地販売情報

分譲地：岐阜市河渡3丁目103番地

建築条件付

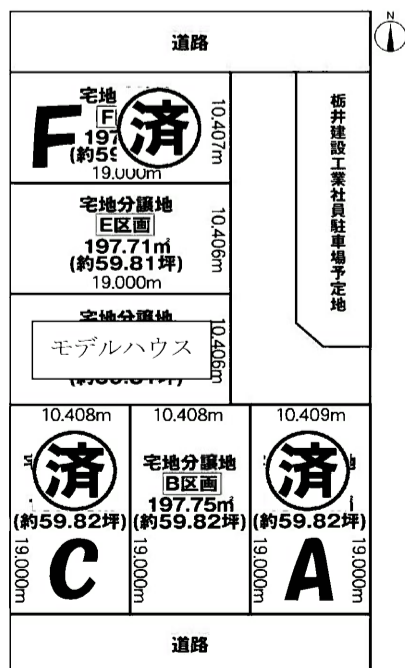
土地価格 59.8坪(坪17万円~)

1,017 万円より

~申し込み・お問い合わせ~

0120-520-523

担当 渡邊 勳



どんな小さなことでもお気軽にご相談下さい。
当社は、お客様満足度地域No.1を目指しています。

構造見学会

9/25(日)・10/2(日)
AM10:00~PM3:00

2棟基礎着工致しました！
モデルハウス見学と同時にSE構法の
工事途中もご覧いただけます。

橋井建設工業(株)ホームページ

<http://www.totii.co.jp>

